

2023年度エイズ電話相談事業報告書

■ 概要 1995年1月から開始し、毎週火曜日夜7～10時に、相談員2名体制で、電話相談を行っている。

■ 目的／経過 HIV感染に対する不安を持つ人、感染後のサポートを求める人に対する相談。

■ 結果／効果 2023年4月～2024年3月の電話相談集計結果

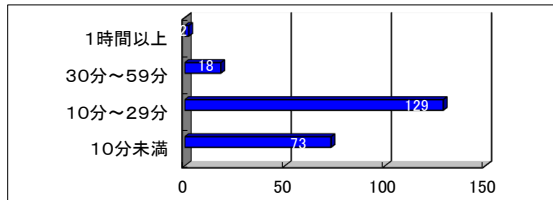
合計件数 222件

1、時刻

時刻	件数	割合
7:00～8:00	115	51.8%
8:00～9:00	70	31.5%
9:00～10:00	37	16.7%
合計	222	100.0%

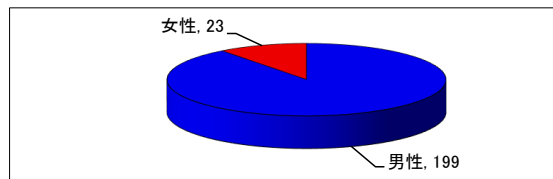
2、時間

時間	件数	割合
10分未満	73	32.9%
10分～29分	129	58.1%
30分～59分	18	8.1%
1時間以上	2	0.9%
合計	222	100.0%



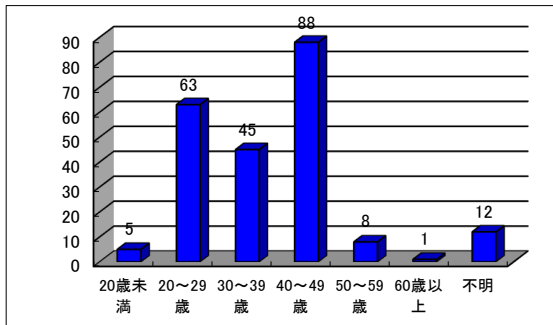
3、性別

性別	件数	割合
男性	199	89.6%
女性	23	10.4%
他	0	0.0%
不明	0	0.0%
合計	222	100.0%



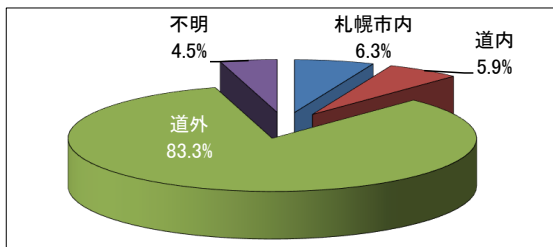
4、年齢

年代	件数	割合
20歳未満	5	2.3%
20～29歳	63	28.4%
30～39歳	45	20.3%
40～49歳	88	39.6%
50～59歳	8	3.6%
60歳以上	1	0.5%
不明	12	5.4%
合計	222	100.0%



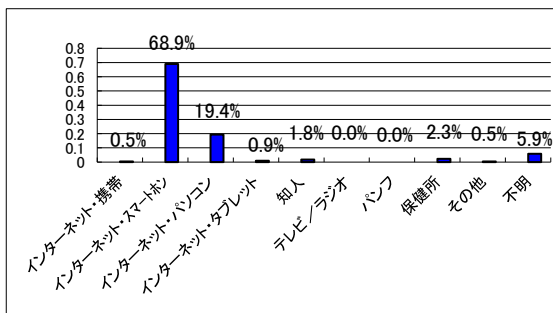
5、地域

地域	件数	割合
札幌市内	14	6.3%
道内	13	5.9%
道外	185	83.3%
不明	10	4.5%
合計	222	100.0%



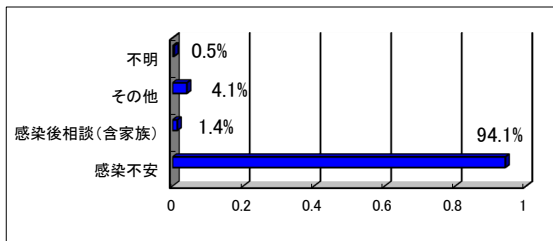
6、情報源

情報源	件数	割合
インターネット・携帯	1	0.5%
インターネット・スマートフォン	153	68.9%
インターネット・パソコン	43	19.4%
インターネット・タブレット	2	0.9%
知人	4	1.8%
テレビ／ラジオ	0	0.0%
パンフ	0	0.0%
保健所	5	2.3%
その他	1	0.5%
不明	13	5.9%
合計	222	100.0%



[相談内容]

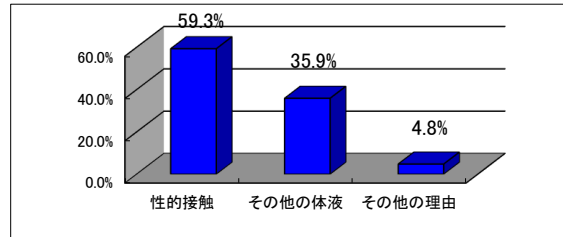
相談内容	件数	割合
感染不安	209	94.1%
感染後相談(含家族)	3	1.4%
その他	9	4.1%
不明	1	0.5%
合計	222	100.0%



1、感染不安の不安要因

※相談内容「感染不安」の内の不安要因

	件数	割合
性的接触	124	59.3%
その他の体液	75	35.9%
その他の理由	10	4.8%
合計	209	100.0%



2、検査についての相談

	件数
あり	82
なし	127
合計	209

3、他の性感染症についての相談

※不安要因が「性的接触」の内の相談

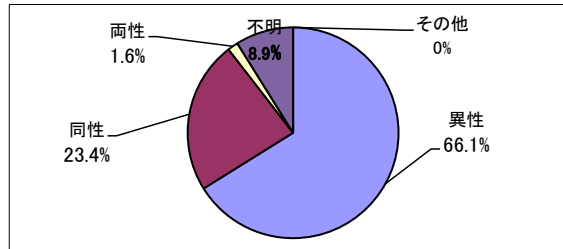
	件数
あり	10
なし	199
合計	209

4、エイズ不安症候群

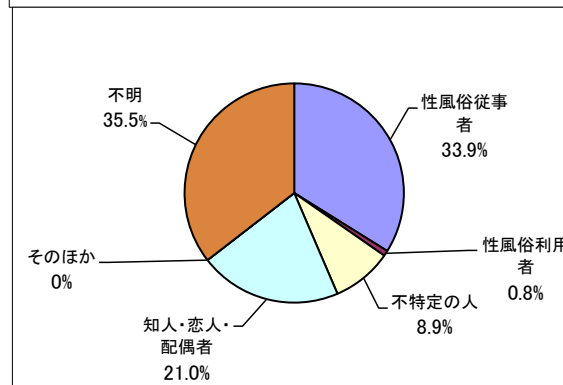
	件数
あり	51
なし	158
合計	209

5、性行為の相手

	件数	割合
異性	82	66.1%
同性	29	23.4%
両性	2	1.6%
不明	11	8.9%
その他	0	0.0%
合計	124	100.0%



	件数	割合
性風俗従事者	42	33.9%
性風俗利用者	1	0.8%
不特定の人	11	8.9%
知人・恋人・配偶者	26	21.0%
そのほか	0	0.0%
不明	44	35.5%
合計	124	100.0%



6、行為内容※コンドームに関して

	不使用	最初から使用	途中から使用	さけた・はずれた	つけたりつけなかったり	不明
膣性交	24	14	0	2	0	0
肛門性交	16	1	0	2	2	1
フェラチオ	45	1	0	0	0	2
クニリングス	7	0				
素股	15					
キス	15					
その他	30					

※月別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期計
	10	22	22	18	19	31	122
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期計
	30	17	14	14	17	8	100
							年間計
							222

■分析

- 件数は昨年度の195件（一日平均3.8件）から222件（一日平均4.4件）と年間受付件数は増加した。（昨年度は年間51回、今年度は年間50回の相談受付日数）
GW後から新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行をし、外出などにより性交渉の機会が増え、相談件数が増加すると予測していたが日常生活におけるHIV感染に不安を抱える方やセクハラと思われる特定の方と思われる相談が多くあったため、件数としては増加したが、まだコロナ禍以前の相談件数に戻るにはまだ時間がかかると考える。
- 国内でのPrEPおよびPEP（nPEP：性行為による暴露後予防）を診断・処方するクリニックが広がるにつれ、PEP・PrEPに関する相談や予防方法として提案する機会も来ており、今後も継続してPrEP・PEPに対する知識の拡充と適切な対応を当電話相談では心がけていきたい。
- 情報源としては、インターネット（携帯・スマホ・PC・タブレット）からが87%を占めている。当会ではインターネットでのアクセス向上を目指しているが上記の通り電話相談件数の回復には至っていない。2024年度はエイズ予防財団の助成金を受けることができたため、電話料金への活用と併せて電話相談の広報資材配布をイベント等で行うなど、さらなるアクセス向上に努めたい
- 相談員は2023年度から1名減となり2名体制で実施した。相談員の仕事の都合で日にち・時間によって2名体制の維持が難しいケースもあり、受話品質向上に努めるとともに、新たな相談員の確保・育成による受話体制の整備が急務となっている。